【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【公表番号】特表2019-511067(P2019-511067A)
【公表日】平成31年4月18日(2019.4.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-015
【出願番号】特願2018-555860(P2018-555860)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/01　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0487　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0481　(2013.01)
Ｇ０２Ｂ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｇ１６Ｈ　50/30　(2018.01)
Ｇ０２Ｂ　30/00　(2020.01)
Ｇ０２Ｂ　26/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/01　５１０
Ｇ０６Ｆ　3/0487
Ｇ０６Ｆ　3/0481　１５０
Ｇ０２Ｂ　27/02　Ｚ
Ａ６１Ｂ　5/00　１０２Ｃ
Ｇ１６Ｈ　50/30
Ｇ０２Ｂ　27/22
Ｇ０２Ｂ　26/10　１０９
Ｇ０２Ｂ　26/10　Ｃ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和3年2月1日(2021.2.1)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ディスプレイシステムであって、前記ディスプレイシステムは、
表示領域を含むウェアラブルディスプレイデバイスであって、前記表示領域は、光をユーザに指向するように構成されている光再指向特徴を含み、前記表示領域は、少なくとも部分的に透明であり、前記表示領域は、前記表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成されている、ウェアラブルディスプレイデバイスと、
１つ以上のハードウェアプロセッサと、
コンピュータ実行可能な命令を含む非一過性のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記コンピュータ実行可能な命令は、前記１つ以上のハードウェアプロセッサによって実行されると、鏡面反射が前記表示領域を通した前記ユーザの視野内にあることを判定することを含む動作を実行することを前記１つ以上のハードウェアプロセッサに行わせる、非一過性のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体と
を備え、
前記鏡面反射が前記ユーザの視野内にあることを判定することは、

反射され検出された電磁放射または音響波の拡散を示すデータを受信することと、
前記データによって示された前記拡散が閾値を下回る場合に鏡面反射が存在すると判定することと、
前記ユーザの反射の画像を捕捉することと、
前記ユーザの前記捕捉された画像に基づいて、前記ユーザの健康分析を行うことと
を含む、ディスプレイシステム。
【請求項２】
前記表示領域は、複数の画像を複数の深度平面上に出力するように構成されている複数のセットの光再指向特徴を含み、前記複数のセットの光再指向特徴のそれぞれは、光を出力することにより、画像を前記複数の深度平面のうちの１つの上に形成するように構成されている、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項３】
前記ディスプレイデバイスは、複数の導波管のスタックを備え、前記複数の導波管のうちの少なくともいくつかは、前記光再指向特徴を含み、前記複数の導波管は、光源からの光を内部結合することと、前記光を出力するように光を外部結合することにより、前記複数の画像を形成することとを行うように構成されており、各導波管は、単一の対応する深度平面に対して画像を出力するように構成されている、請求項２に記載のディスプレイシステム。
【請求項４】
拡張現実コンテンツを前記表示領域内に続いて表示することをさらに含み、前記拡張現実コンテンツは、前記反射を拡張する、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項５】
前記ディスプレイデバイスは、ユーザ注視持続時間または瞳孔面積の一方または両方を検出するように構成されているカメラを備え、前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、ユーザ注視持続時間または瞳孔面積の一方または両方に応じて、前記拡張現実コンテンツのタイプおよびタイミングの一方または両方を修正することを含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項６】
前記動作は、前記ユーザの識別を判定することをさらに含み、前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、前記ユーザに一意の情報を表示することを含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項７】
前記動作は、前記拡張現実コンテンツを続いて表示する前に、前記ユーザの場所を判定することをさらに含み、
前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、前記ユーザの場所に特有の拡張現実コンテンツを表示することを含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項８】
前記拡張現実コンテンツを表示することは、前記ユーザが位置する店舗または店舗の一部からのセールのオファーを表示することを含む、請求項７に記載のディスプレイシステム。
【請求項９】
前記拡張現実コンテンツは、前記ユーザの反射にオーバーレイする衣類の画像を含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項１０】
前記拡張現実コンテンツは、定期的使用のための製品を補充するためのアラートを含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項１１】
前記動作は、
長期時間間隔にわたって前記ユーザの１つ以上の画像を捕捉することと、
前記画像または前記画像から導出されるデータを記憶することと、

現在の画像と前記記憶された画像またはデータとの間の比較を行うことと
をさらに含み、
前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、前記比較の結果を表示することを含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項１２】
前記比較の結果を表示することは、前記ユーザの１つ以上の以前の画像を表示することを含む、請求項１１に記載のディスプレイシステム。
【請求項１３】
前記比較を行うことは、健康分析を行うことを含む、請求項１１に記載のディスプレイシステム。
【請求項１４】
健康分析を行うことは、体型、皮膚蒼白、皮膚特徴の変化を検出することを含む、請求項１３に記載のディスプレイシステム。
【請求項１５】
前記動作は、体重計、体温計、脈拍計、心拍モニタのうちの１つ以上のものからのデータにアクセスすることをさらに含む、請求項４に記載のディスプレイシステム。
【請求項１６】
前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、前記アクセスされたデータまたは前記アクセスされたデータから導出される情報の一方または両方を表示することを含む、請求項１５に記載のディスプレイシステム。
【請求項１７】
前記動作は、
前記ユーザのアクティビティに関する情報を収集することと、
前記ユーザのアクティビティに関する情報を前記ユーザの反射を提供する反射表面に関連付けられた受信ステーションに伝送することと
をさらに含む、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項１８】
前記動作は、
前記ユーザの識別を判定することと、
前記ユーザの購入またはブラウジング履歴にアクセスすることと、
前記購入またはブラウジング履歴に基づいて、セールのオファーを生成することと
をさらに含む、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項１９】
前記反射が前記ユーザの視野内にあることを判定することは、前記反射の画像を分析することと、前記反射内の指向性特徴が反転されているかどうかを判定することとを含む、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項２０】
前記健康分析は、神経学的な試験を含む、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項２１】
前記健康分析は、脳神経試験、運動検査、観察可能な身体異常の検査、筋緊張および筋肉量の点検、筋肉の機能試験、個々の筋群の強度の試験、反射試験、協調試験、歩行試験のうちの１つ以上のものを含む、請求項１に記載のディスプレイシステム。
【請求項２２】
画像を表示するための方法であって、前記方法は、
ウェアラブルディスプレイデバイスを提供することであって、前記ウェアラブルディスプレイデバイスは、表示領域を含み、前記表示領域は、光をユーザに指向するように構成されている光再指向特徴を含み、前記表示領域は、少なくとも部分的に透明であり、前記表示領域は、前記表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成されている、ことと、
鏡面反射が前記表示領域を通した前記ユーザの視野内にあることを判定することと

を含み、
前記反射が前記ユーザの視野内にあることを判定することは、
反射され検出された電磁放射または音響波の拡散を示すデータを受信することと、
前記データによって示された前記拡散が閾値を下回る場合に反射が存在すると判定することと、
前記ユーザの反射の画像を捕捉することと、
前記ユーザの前記捕捉された画像に基づいて、前記ユーザの健康分析を行うことと
を含む、方法。
【請求項２３】
光学信号または聴覚信号の一方または両方を前記ユーザに提供することによって、前記ユーザを反射表面に誘引することをさらに含む、請求項２２に記載の方法。
【請求項２４】
拡張現実コンテンツを続いて前記表示領域内に表示することをさらに含み、前記拡張現実コンテンツは、前記反射を拡張する、請求項２２に記載の方法。
【請求項２５】
前記拡張現実コンテンツを続いて表示する前に、前記ユーザの場所を判定することをさらに含み、前記拡張現実コンテンツを続いて表示することは、前記ユーザの場所に特有の拡張現実コンテンツを表示することを含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項２６】
拡張現実コンテンツを表示することは、前記ユーザが位置する店舗または店舗の一部からのセールのオファーを表示することを含む、請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記拡張現実コンテンツは、前記ユーザの反射にオーバーレイする衣類の画像を含む、請求項２５に記載の方法。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００５】
いくつかの実施形態では、ディスプレイシステムが、提供される。ディスプレイシステムは、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを備える。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される。ディスプレイデバイスはまた、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサと、コンピュータ実行可能命令を含む、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える。命令は、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサによって実行されると、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサに、ユーザの反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップと、続いて、拡張現実コンテンツを表示領域内に表示するステップとを含む、動作を行わせ、拡張現実コンテンツは、反射を拡張する。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００６】
いくつかの他の実施形態では、画像を表示するための方法が、提供される。本方法は、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェ

アラブルディスプレイデバイスを提供するステップを含む。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する。本方法はさらに、ユーザの反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップと、続いて、拡張現実コンテンツを表示領域内に表示するステップとを含む。拡張現実コンテンツは、反射を拡張する。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００７】
さらにある他の実施形態では、ディスプレイシステムが、提供される。ディスプレイシステムは、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを備える。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される。ディスプレイデバイスはまた、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサと、コンピュータ実行可能命令を含む、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える。命令は、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサによって実行されると、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサに、反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップを含む、動作を行わせる。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００８】
いくつかの実施形態では、画像を表示するための方法が、提供される。本方法は、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップを含む。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される。本方法はさらに、反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップを含む。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００９】
さらに他の実施形態では、ディスプレイシステムは、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを備える。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される。ディスプレイデバイスはまた、外向きカメラと、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサと、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサによって実行されると、１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサに、種々の動作を行わせる、コンピュータ実行可能命令を含む、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える。動作は、外向きカメラを使用して、画像情報を受動的に収集するステップと、画像情報が反射を含有するかどうかを判定するステップと、画像情報がユーザ

の健康分析のための関連データを含有するかどうかを判定するステップと、健康分析を行うステップとを含む。

【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１０】
いくつかの実施形態では、画像を表示するための方法が、提供される。本方法は、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域であって、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップを含む。ディスプレイデバイスはまた、外向きカメラを備える。本方法はさらに、外向きカメラを使用して、画像情報を受動的に収集するステップと、画像情報が反射を含有するかどうかを判定するステップと、画像情報がユーザの健康分析のための関連データを含有するかどうかを判定するステップと、健康分析を行うステップとを含む。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１３】
１．画像を表示するための方法であって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域を備えるウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップであって、該表示領域は、少なくとも部分的に透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する、ステップと、ユーザの反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップと、続いて、拡張現実コンテンツを表示領域内に表示するステップであって、拡張現実コンテンツは、反射を拡張する、ステップとを含む、方法。

【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１４】
２．表示領域は、光を出力し、複数の画像セットを複数の深度平面上に形成するように構成され、画像のうちの１つまたはそれを上回るものは、拡張現実コンテンツを備える、実施形態１に記載の方法。

【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６５】
５３．ディスプレイシステムであって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域を備えるウェアラブルディスプレイデバイスであって、該表示領

域は、少なくとも部分的に、透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する、ウェアラブルディスプレイデバイスと、ハードウェアプロセッサと、コンピュータ実行可能命令を含む非一過性コンピュータ可読記憶媒体であって、該コンピュータ実行可能命令は、ハードウェアプロセッサによって実行されると、ユーザの反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップと、続いて、拡張現実コンテンツを表示領域内に表示するステップであって、拡張現実コンテンツは、反射を拡張する、ステップとを含む、動作を行うようにハードウェアプロセッサを構成する、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える、システム。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６６】
５４．表示領域は、複数の画像を複数の深度平面上に出力するように構成される、複数の光再指向特徴のセットを備え、各光指向特徴のセットは、光を出力し、画像を複数の深度平面のうちの１つ上に形成するように構成される、実施形態５３に記載のシステム。

【誤訳訂正１２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１１４】
１０２．ディスプレイシステムであって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域を備えるウェアラブルディスプレイデバイスであって、該表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する、ウェアラブルディスプレイデバイスと、ハードウェアプロセッサと、コンピュータ実行可能命令を含む非一過性コンピュータ可読記憶媒体であって、該コンピュータ実行可能命令は、ハードウェアプロセッサによって実行されると、反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップを含む動作を行うようにハードウェアプロセッサを構成する、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える、ディスプレイシステム。

【誤訳訂正１３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１２４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１２４】
１１２．画像を表示するための方法であって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域を備えるウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップであって、該表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューに提供する、ステップと、反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するステップとを含む、方法。

【誤訳訂正１４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１３４

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１３４】
１２２．ディスプレイシステムであって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域であって、該表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューに提供する、表示領域と、外向きカメラとを備えるウェアラブルディスプレイデバイスであって、ハードウェアプロセッサと、コンピュータ実行可能命令を含む非一過性コンピュータ可読記憶媒体であって、該コンピュータ実行可能命令は、ハードウェアプロセッサによって実行されると、外向きカメラを使用して、画像情報を受動的に収集するステップと、画像情報が反射を含有するかどうかを判定するステップと、画像情報がユーザの健康分析のための関連データを含有するかどうかを判定するステップと、健康分析を行うステップとを含む、動作を行うようにハードウェアプロセッサを構成する、非一過性コンピュータ可読記憶媒体とを備える、ディスプレイシステム。

【誤訳訂正１５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１３９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１３９】
１２７．画像を表示するための方法であって、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域であって、該表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する、表示領域と、外向きカメラとを備えるウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップと、外向きカメラを使用して、画像情報を受動的に収集するステップと、画像情報が反射を含有するかどうかを判定するステップと、画像情報がユーザの健康分析のための関連データを含有するかどうかを判定するステップと、健康分析を行うステップとを含む、方法。

【誤訳訂正１６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０３３０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０３３０】
６４．第２の発呼者の画像を生成するために、コンピュータプロセッサは、第１の拡張現実デバイスによって捕捉されていない、第２の発呼者の身体の領域を識別し、第２の発呼者の身体の領域を備える、第３の画像を読み出し、少なくとも部分的に、第２の拡張現実デバイスから受信された第２の画像および第３の画像に基づいて、第２の発呼者の画像を生成するようにプログラムされる、実施形態５８に記載のシステム。
本発明は、例えば、以下を提供する。
（項目１）
ディスプレイシステムであって、
ウェアラブルディスプレイデバイスであって、
光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域であって、前記表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、前記表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される、表示領域
を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスと、
１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサと、
コンピュータ実行可能命令を含む非一過性コンピュータ可読記憶媒体であって、前記コ

ンピュータ実行可能命令は、
前記１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサによって実行されると、前記１つまたはそれを上回るハードウェアプロセッサに、
反射が前記表示領域を通した前記ユーザの視野内にあることを判定するステップ
を含む動作を行わせる、非一過性コンピュータ可読記憶媒体と
を備える、ディスプレイシステム。
（項目２）
前記表示領域は、複数の画像を複数の深度平面上に出力するように構成される複数の光再指向特徴のセットを備え、光指向特徴の各セットは、光を出力し、画像を前記複数の深度平面のうちの１つ上に形成するように構成される、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目３）
前記ディスプレイデバイスは、導波管のスタックを備え、前記導波管の少なくともいくつかは、前記光再指向特徴を備え、前記導波管は、光源からの光を内部結合し、前記光を出力するために光を外部結合し、前記複数の画像を形成するように構成され、各導波管は、単一の対応する深度平面に関して画像を出力するように構成される、項目２に記載のディスプレイシステム。
（項目４）
拡張現実コンテンツを続いて前記表示領域内に表示するステップをさらに含み、前記拡張現実コンテンツは、前記反射を拡張する、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目５）
前記ディスプレイデバイスは、ユーザ注視持続時間または瞳孔面積の一方または両方を検出するように構成されるカメラを備え、前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、ユーザ注視持続時間または瞳孔面積の一方または両方に応じて、前記拡張現実コンテンツのタイプおよびタイミングの一方または両方を修正するステップを含む、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目６）
前記動作はさらに、前記ユーザの識別を判定するステップを含み、前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、前記ユーザに一意の情報を表示するステップを含む、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目７）
前記動作はさらに、前記拡張現実コンテンツを続いて表示する前に、前記ユーザの場所を判定するステップを含み、前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、
前記ユーザの場所に特有の拡張現実コンテンツを表示するステップ
を含む、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目８）
前記拡張現実コンテンツを表示するステップは、前記ユーザが位置する店舗または店舗の一部からのセールのオファーを表示するステップを含む、項目７に記載のディスプレイシステム。
（項目９）
前記拡張現実コンテンツは、前記ユーザの反射にオーバーレイする衣類の画像を備える、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目１０）
前記拡張現実コンテンツは、定期的使用のための製品を補充するためのアラートを備える、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目１１）
前記動作はさらに、
長期時間間隔にわたって前記ユーザの１つまたはそれを上回る画像を捕捉するステップと、
前記画像から導出される画像またはデータを記憶するステップと、

現在の画像と前記記憶された画像またはデータとの間の比較を行うステップと
を含み、
前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、前記比較の結果を表示するステップを含む、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目１２）
前記比較の結果を表示するステップは、前記ユーザの１つまたはそれを上回る以前の画像を表示するステップを含む、項目１１に記載のディスプレイシステム。
（項目１３）
前記比較を行うステップは、健康分析を行うステップを含む、項目１１に記載のディスプレイシステム。
（項目１４）
健康分析を行うステップは、体型、皮膚蒼白、皮膚特徴における変化を検出するステップを含む、項目１３に記載のディスプレイシステム。
（項目１５）
前記動作はさらに、体重計、体温計、脈拍計、および心拍モニタのうちの１つまたはそれを上回るものからのデータにアクセスするステップを含む、項目４に記載のディスプレイシステム。
（項目１６）
前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、前記アクセスされたデータまたは前記アクセスされたデータから導出される情報の一方または両方を表示するステップを含む、項目１５に記載のディスプレイシステム。
（項目１７）
前記動作はさらに、
前記ユーザのアクティビティに関する情報を収集するステップと、
前記ユーザのアクティビティに関する情報を前記ユーザの反射を提供する反射表面と関連付けられた受信ステーションに伝送するステップと
を含む、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目１８）
前記動作はさらに、
前記ユーザの識別を判定するステップと、
前記ユーザの購入またはブラウジング履歴にアクセスするステップと、
前記購入またはブラウジング履歴に基づいて、セールのオファーを生成するステップと
を含む、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目１９）
前記反射が前記ユーザの視野内にあることを判定するステップは、前記反射の画像を分析し、前記反射内の指向性特徴が反転されるかどうかを判定するステップを含む、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目２０）
前記ユーザは、前記反射内に存在し、前記動作はさらに、
前記ユーザの反射の画像を捕捉するステップと、
前記ユーザの捕捉された画像に基づいて、健康分析を行うステップと
を含む、項目１に記載のディスプレイシステム。
（項目２１）
前記健康分析は、神経学的試験を備える、項目２０に記載のディスプレイシステム。
（項目２２）
前記健康分析は、脳神経試験、運動検査、観察可能な身体異常の検査、筋緊張および筋肉量の点検、筋肉の機能試験、個々の筋群の強度の試験、反射試験、協調試験、および歩行試験のうちの１つまたはそれを上回るものを備える、項目２０に記載のディスプレイシステム。
（項目２３）

画像を表示するための方法であって、前記方法は、
ウェアラブルディスプレイデバイスを提供するステップであって、前記ウェアラブルディスプレイデバイスは、
光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える表示領域であって、前記表示領域は、少なくとも部分的に、透明であり、前記表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するように構成される、表示領域
を備える、ステップと、
反射が前記表示領域を通した前記ユーザの視野内にあることを判定するステップと
を含む、方法。
（項目２４）
前記ユーザは、前記反射内に存在し、
前記ユーザの反射の画像を捕捉するステップと、
前記ユーザの捕捉された画像に基づいて、前記ユーザの健康分析を行うステップと
をさらに含む、項目２３に記載の方法。
（項目２５）
光学または聴覚信号の一方または両方を前記ユーザに提供することによって、前記ユーザを反射表面に誘引するステップをさらに含む、項目２３に記載の方法。
（項目２６）
拡張現実コンテンツを続いて前記表示領域内に表示するステップをさらに含み、前記拡張現実コンテンツは、前記反射を拡張する、項目２３に記載の方法。
（項目２７）
前記拡張現実コンテンツを続いて表示する前に、前記ユーザの場所を判定するステップをさらに含み、前記拡張現実コンテンツを続いて表示するステップは、
前記ユーザの場所に特有の拡張現実コンテンツを表示するステップを含む、項目２６に記載の方法。
（項目２８）
拡張現実コンテンツを表示するステップは、前記ユーザが位置する店舗または店舗の一部からのセールのオファーを表示するステップを含む、項目２７に記載の方法。
（項目２９）
前記拡張現実コンテンツは、前記ユーザの反射にオーバーレイする衣類の画像を備える、項目２７に記載の方法。

【誤訳訂正１７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０３６４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０３６４】
有利には、本明細書に開示される種々の実施形態は、高度に個人化されたコンテンツを提供する能力とともに、没入感のある現実的視覚的体験を提供し得る。いくつかの実施形態では、ディスプレイシステムは、拡張現実コンテンツを表示するためのウェアラブルディスプレイデバイスを備える。ディスプレイデバイスは、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、それによって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供する。その結果、表示領域は、ユーザに鏡または他の反射構造内のその反射を見えることを可能にする。いくつかの実施形態では、ディスプレイシステムは、ユーザの反射が表示領域を通したユーザの視野内にあることを判定するように構成される。本判定を行った後、拡張現実コンテンツは、拡張現実コンテンツがユーザの反射を拡張するように、表示領域に表示される。拡張現実コンテンツはまた、仮想コンテンツと称され得ることを理解されたい。

【誤訳訂正１８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０３６６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０３６６】
いくつかの実施形態では、ディスプレイシステムは、ユーザが反射内に存在しない場合でも、場面の反射（例えば、人々等のオブジェクトを含んでもよい）にオーバーレイする、拡張現実コンテンツを表示してもよい。そのような実施形態では、ディスプレイシステムは、場面が反射であることを判定するように構成されてもよい。いったん判定が行われると、ディスプレイシステムは、拡張現実コンテンツを表示領域内に表示するように構成されてもよい。いくつかの実施形態では、拡張現実コンテンツは、反射内のオブジェクトについての情報を伝達し、および／またはそれらのオブジェクトの外観を修正する、通知または他の視覚的コンテンツを含んでもよい。本明細書で使用されるように、「オブジェクト」は、周囲環境内の任意の視覚的特徴（例えば、風景、人々、または風景および人々の一部を含む）および／またはディスプレイシステムによって生成された任意の視覚的特徴を指し得る。オブジェクトについての情報は、ディスプレイシステム内にローカルに記憶されてもよいことを理解されたい。より好ましくは、情報は、他のユーザと共有されるデータベースから導出される。共有に起因して、異なるユーザが、周囲環境に関する異なるデータを供給し、それによって、ローカルに記憶されるデータとともに利用可能であり得る、その周囲環境についてのより完全なデータのセットを提供し得る。いくつかの他の実施形態では、ディスプレイシステムは、反射に見られるようなユーザの種々のパラメータを評価することによって、健康分析を実施するように構成されてもよい。いくつかの実施形態では、ディスプレイシステムは、画像情報を受動的に収集するように構成されてもよく、その画像情報から選択されたデータは、開示される種々の健康分析を実施する際に使用されてもよい。

【誤訳訂正１９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０４４３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０４４３】
図１２は、拡張現実コンテンツを生成し、ユーザのその反射のビューを拡張するためのルーチンのフロー図の実施例を図示する。好ましくは、ルーチンは、光をユーザに指向するように構成される光再指向特徴を備える、表示領域を備える、ウェアラブルディスプレイデバイスを有する、システム８０（図１Ｂ）等のディスプレイシステム内で実装される。表示領域は、少なくとも部分的に、透明であって、表示領域を通して、周囲環境のビューを提供するために十分に透明であってもよい。いくつかの実施形態では、本明細書に説明されるアクションおよび機能のいずれかを含む、ルーチンは、ローカル処理およびデータモジュール７０または遠隔処理モジュール７２内の非一過性メモリ内のプログラミングとして記憶されてもよい。プログラミングおよびルーチンは、ハードウェアプロセッサモジュール７０および／またはモジュール７２（図１Ｂ）によって実装されてもよい。

【誤訳訂正２０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０４４４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０４４４】

図１２を継続して参照すると、ブロック７００では、視認者の反射が視認者の視野内にあるかどうかに関して判定が行われる。判定が正である場合（すなわち、反射が視認者の視野内にあると判定される）、ルーチンは、ブロック７１０に進む。ブロック７１０では、拡張現実コンテンツが、表示される。本明細書に開示されるように、いくつかの実施形態では、拡張現実コンテンツは、画像コンテンツでエンコードされた光を、光をユーザに出力し、ユーザによって知覚される画像を形成する、ウェアラブルディスプレイに提供することによって表示されてもよい。画像は、好ましくは、表示領域の全体未満を占有し、それによって、周囲環境のビューを可能にする。結果として、仮想コンテンツは、実オブジェクトのユーザのビューと混成し得る。いくつかの実施形態では、仮想コンテンツは、実オブジェクトのうちの１つまたはそれを上回るものの一部または全部のユーザのビューを遮断してもよい。そのような遮断は、本明細書に開示されるように、システムが、知覚されたそれらのオブジェクトの外観を修正することを可能にする。拡張現実コンテンツは、視認および分析のためのリアルタイム情報および／または履歴データを含んでもよいことを理解されたい。

【誤訳訂正２１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０４４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０４４５】
いくつかの実施形態では、画像とユーザの反射の空間同期が、ディスプレイシステムのカメラ（世界を撮像するための前向きカメラと、ユーザの眼を撮像し、ユーザの視線方向を判定するように構成される、内向きカメラの両方）によって捕捉されたリアルタイム画像を分析し、画像が、リアルタイムで、ユーザの反射の一部の反射または拡張現実コンテンツによって修正されている周囲環境を遮断し、取って代わるように、画像を表示領域内に位置付けることによって達成されてもよい。画像を構築するために使用される画像情報は、ディスプレイシステム８０内に記憶されてもよい（例えば、ローカル処理およびデータモジュール７０（図１Ｂ）内にローカルに）、および／また第三者ソースから受信されてもよい（例えば、ユーザが、特定の物理的施設内に居ること、または特定のオンラインサイトを視認していることの検出に応じて、ディスプレイシステムによって確立され得る、例えば、小売店もしくは健康施設との無線もしくは有線通信リンクを通して、および／または遠隔データリポジトリ７４（図１Ｂ）にダウンロードされたコンテンツを通して）。反射内の実オブジェクトは、対応する視線に沿ってユーザに見えることを理解されたい。好ましくは、ディスプレイシステムは、ユーザの視野内の画像の場所が、画像が、実オブジェクトのユーザのビューに取って代わり、それを効果的に遮断することが意図される、その実オブジェクトの視線と一致するように、その画像を位置付けるように構成される。加えて、画像は、反射内に見えるであろう実オブジェクトの深度平面に合致する深度平面上（例えば、実オブジェクトから鏡まで、次いで、鏡からユーザまで、光線によって横断されるであろう距離と等しい、ユーザからの距離に対応する深度平面上に）に設置されてもよい。